



若見 孝信 議員



◀ QRコード
(動画配信)
YouTube

Takanobu Wakami

ふるさと納税について

▶ 納税大幅増収に向けて、あらゆる方策を講じて意欲的に取り組んでいく

Q 返礼品が126品から161品に増えているが、その中でどのような品目が人気なのか。

A イチゴ、マスク、ギョーザ、新鮮野菜の人気の高い。これら返礼品の特徴の一つは、種類と品ぞろえが豊富な点であり、同じ品目でも選択肢が多いと人気が集まる。

Q 市内企業との連携では、マスク、餃子などが取り組まれているが、全体としてはいくつの企業と連携して、返礼品は何品となっていて、どのような品目に人気があるのか。

A 農産物提供者10名を含む地元40事業者と連携し、品目数は263である。



Q 今後拡大する返礼品として、どのようなものを検討しているのか。

A 寄附単価として最も多い1万円から2万円に対する返礼品の充実を図ると同時に、高額な寄附額に対応できるような返礼品の開拓にも取り組んで、返礼品500品目達成を目指していく。見るだけでも楽しめるポータルサイトの構築、企業間協力によるコラボ商品、体験型の返礼品、ふるさと定期便なども取り入れていきたい。

Q 令和4年度ふるさと納税寄附額が1億6,000万円で計上されているが、その裏づけは。

A ポータルサイトを9に増やし、高額な寄附額に対応する体験型の返礼品の検討を進めている。

Q ふるさと納税に注力するためには組織体系の強化が必要では。

A 随時状況を見極めながら、しかるべきタイミングで組織強化を行っていきたい。





笹沼 昭司 議員



Shoji Sasanuma

米価の下落や原油高により逼迫する農家経営への支援について

▶飼料用米の市単独産地交付金助成は慎重に判断

Q 昨年の米価は前年を大きく下回り、コシヒカリは1俵当たり1等米で前年より27.4%の引下げとなり、概算金で9,000円になった。また令和4年の主食米の作付参考値は、47.6%と初めて5割を切った。一方、米生産に係る経費は燃料費、農薬、肥料などが値上がりし、農家の経営が逼迫した状況に立たされている。こうした窮状を支援するため、助成金などの対策を講じる必要があるが、市長の農家に対する認識は。

A 農業の意欲が減退する状況ではないかと捉えている。

Q 収入減となった農家に対する支援策は。

A さくら市主食用米作付農家支援助成金、ひとり親世帯へのさくら市産米の配布事業により、米農家への支援や消費拡大を図る。3月末までに完了すべく取組む。

Q 今後の継続的な支援策は。

A 米価の下落に備えて、ナラシ対策の条件である認定農業者を増やす取組みや、収入保険加入促進のため、情報提供を積極的に行う。また主食用米から飼料用米などの多用途米や麦・大豆への作付転換の推進、露地野菜等推進支援事業や新規導入作物種子種苗助成事業などを推進していく。前回から提案されている収入保険加入を促進する支援制度や、認定農家でないため支援の対象とならない場合は、自治体として何らかの施策がとれないか継続的に考察を深めていく。

Q 地域農業マスタープランとしての人農地プランがある。その実質化で中心経営体の確保状況は。

A 市内を32の集落に分けてプランの実質化に取組み、各集落の中心経営体は、氏家地区でのべ503経営体、喜連川地区がのべ211経営体となっている。



新型コロナウイルス感染症対応緊急支援 さくら市主食用米作付農家支援助成金 米生産者を応援します！

外食産業における主食用米の消費需要が落ち込んだことにより、令和3年栃木県産米の概算金の大幅な下落が発表され、主食用米の大幅な価格下落が確定的であることから、米生産農家の生産意欲減退を抑制し、主食用米生産農家の経営安定に繋げていただくために緊急的に助成金を給付するものです。

- 対象者 助成金の交付対象者は、次の要件をすべて満たしている方です。
1 市内に住所がある方
2 主食用米の作付面積が30アール以上ある方
3 作付けした主食用米を集出荷業者等に販売している方
4 認定農業者（法人含む）又は認定新規就農者
5 令和3年度の主食用米の作付参考値を達成している者
6 令和4年度も作付け参考値を遵守し、今後も継続して主食用米を作付け・販売する方
7 農業の税申告をしている方
8 市税を完納している方

●助成金の額 主食用米の作付面積に応じて助成金を交付します。

Table with 2 columns: 主食用米作付面積, 助成額 (円)

※10ha以上の主食用米の作付がある農業法人は、上記に一律10万円の加算があります。

- 申請方法 次の書類等を持参し、農政課に申請してください。
1 助成金申請書及び誓約書（裏面）
2 令和2年分の農業の税申告書関係書類（写）
3 市税完納証明書
4 令和3年度営農計画書（写）
5 令和3年度米販売関係書類（写）
6 申請人名義の振込口座・通帳（写）
※窓口受付時間短縮のため、写しはすべてご用意のうえ提出してください。

●申請期限 令和4年3月10日（木）提出期限
申請期限を厳守くださいますようお願いいたします。
助成金の交付は、3月下旬を予定しております。

—詳しくは農政課までお問い合わせください—
さくら市産業経済部農政課 TEL028-681-1117

主食用米作付け農家支援助成



手塚 定 議員



Sadamu Tetsuka

さくら市主食用米作付農家支援助成について

▶まずは実施し、改めて研究をしていく

Q さくら市主食用米作付農家支援助成要件には、認定農業者又は認定新規就農者の項目があり、対象とならない農家が多数助成を受けられない。そこで対象者の要件等を見直し、全ての主食用米作付農家に支援助成を行う考えがあるのか。

A 対象者は市内に住所のある、30アール以上の米販売農家で認定農業者または認定新規就農者であり、作付参考値を遵守している方とした。理由として本市の認定農業者数は、約300名でほかの市町より多く、米価下落によって影響を受ける農業者の大部分は網羅できること、また認定農業者を増やしたいことにある。要件の見直しについてまずは、計画どおり助成事業を実施し、他市町の結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の動向も見極めながら改めて研究をしていく。

Q 支援と補助は別。対象者と言ったら全ての米作農家に対応するのが支援施策で対象者の条件など農業者を区別しないで行っては。

A 商工業者については、主に国が中心となり動いている。米作農家支援については、他市町も同じ条件で実行しているの、まずは原案通り執行し、コロナ後を含めて市としてどのように農業政策を行っていくのか考えていきたい。



さくら市主食用米作付農家支援助成対象者（次の要件をすべて満たしている方）

Table with 2 columns: 番号, 要件



福田 克之 議員



Katsuyuki Fukuda

桜を中心とした「桜、花、緑」の「まちづくり」について

▶市と市民の協働で行う桜、花、緑によるまちづくりのための条例を今議会に上程した

Q 桜を中心とした「桜の郷づくり」については、多くの市民の思いや気持ちが込められている。そこで、市役所のそれぞれの部署、行政区、そしてボランティア団体を見ても、数多く存在する。それらを整理し、基金も含め、桜など維持管理をする「桜、花、緑」に特化した条例や新たな部署、課、室の設置が必要。そこで、市としての条例制定や新部署の設置については。

A 「桜、花、緑」は、植栽して終わりではない。いかに適切な維持管理を実施し、常に美しい状態を保つかが重要。現在、庁内各課が縦割りのそれぞれ実施している「桜、花、緑」に関する事業、「桜の郷づくり事業」や「花いっぱい運動推進事業」に代表される植栽や苗木の配布など8つの事業、樹木などを維持するための新たな補助施策、桜を主とする維持管理業務に関して、これらを統括一元化して実施する専門部署の必要性を感じている。



早乙女桜並木

Q 桜にちなんだ友好都市の締結等、今後の考えについては。

A 各施策やイベント等で連携を深め、桜による友好関係を結ぶことも視野に情報収集をしていく。また、桜のみに限定することなく、花と緑によってまちづくりを行っている自治体等との交流を深め、桜に関する研究会等にも参加し、学べる点について積極的に調査研究を進めたい。

Q 桜の商品開発の必要性については。

A 地元の様々な企業等と協働しながら、商品開発に取り組んでいく。



市役所前したれ桜・花壇



高瀬 一徳 議員



Kazunori Takase

河川環境について

▶地球未来の重要な政策課題である

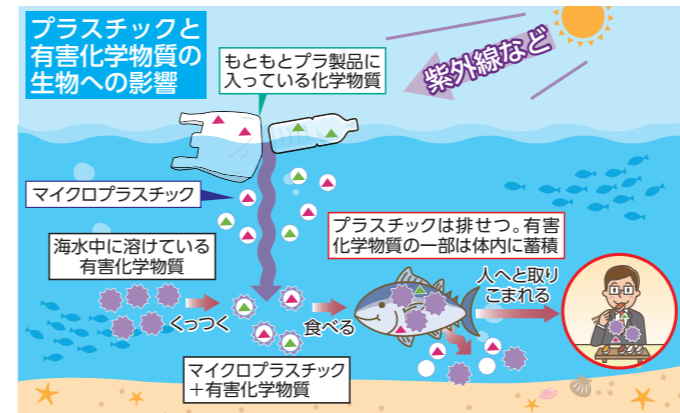
Q 五行川・荒川などの河川に堆積する汚泥やゴミの撤去についてさくら市の対応は。

A 堆積土除去は要望に基づき毎年実施、防災の観点から大沼川・冷子川のハザードマップが追加作成され、市街地の雨水対策に取り組み流下能力の確保に努める。

Q 近年、河川・海洋の汚染で取り上げられている※「マイクロプラスチック」に対するさくら市の取り組みについては。

A 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行(令和4年4月～)されるに当たり、プラスチック廃棄物の排出抑制、再資源化に努め※3R活動を通じて廃棄減量と適正処理に取り組む、又、不法投棄については防止看板や防犯カメラの設置、巡回パトロールにより監視、取締りの強化を図る。「ゆめ!さくら博」での啓発活動や学生に対する環境教育活動にも力を入れる。

回収できないマイクロプラスチック食物連鎖で人にも



Q 稲作生産(お米)に使われるプラスチック肥料に対するさくら市の取り組みは。

A 1970年代から普及、全国で半分以上の水田で使用されている。役目を終えたプラスチック肥料殻が河川を伝い海洋に流れ出し環境への悪影響が心配される事から、農業者に対してプラスチック肥料殻による環境問題や流失防止対策について国・県・関係団体と連携して問題解決と農業生産の効率化に努める。

Q さくら市は塩谷広域行政組合の一員であり、プラスチックの一括回収については他の自治体との連携が必要では。

A 2市2町でルールを統一する必要がある、リサイクルを委託する指定法人の選定やリサイクルを行う方法などを協議していきたい。市民に対しては啓発を行い、プラスチック廃棄物削減を、ひいてはマイクロプラスチックの削減に努めていきたい。



スケールの目盛りは1mm
出典：農林水産省WEBサイト
(https://www.maff.go.jp/j/seisan/pura-jun/) プラスチック肥料殻

※マイクロプラスチックとは
環境中に存在するプラスチックで紫外線や風雨、使用の過程で出た一辺がミリ以下になったプラスチック粒子

※3R活動とは
物を大切に使いゴミを減らす事 Reduce (リデュース)
使える物は繰り返し使う事 Reuse (リユース)
ゴミを資源として再利用する事 Recycle (リサイクル)
の頭文字



岡村 浩雅 議員



Hiromasa Okamura

デジタル弱者への支援について

▶より細やかな支援体制を整えていく

Q 本市におけるマイナンバーカード取得、活用に向けた支援について、現状及び今後の取り組みは。

A マイナンバーカードの取得申請を行う際、市のタブレットを使用して顔写真の撮影から申請項目の入力など、申請のサポートを行っている。
また、マイナポイントの申請や活用には初めての方には困難が多いため、対応する職員は注意を払いながら市のマイナポータル端末を使用し時間をかけてサポートを行っている。
今後は、会計年度任用職員の増員及びタブレット端末の増設を図る予定である。

マイナポイント 第2弾
最大 20,000円分のマイナポイントがもらえる!

マイナンバーカードの
新規取得等で 5,000円分
健康保険証としての
利用申込みで 7,500円分
企業受取口座の
登録で 7,500円分

マイナポイントを受け取るには、マイナンバーカードを使って、マイナポイントの申込みを行う必要があります。

マイナポイントの申込みはマイナンバーカードの「電子証明書」を使うので、なりすましなどの悪用は困難です。
※マイナポイントの申込みはマイナンバーカードの「電子証明書」を使うので、なりすましなどの悪用は困難です。

最新の情報はマイナポイント事業ホームページをご覧ください
マイナポイント

Q スマートフォンの使用方法などデジタル機器使用への支援について、現状及び今後の取り組みは。

A 昨年12月に宇都宮大学の学生による高齢者向けスマホ講座を、学生の演習の一環として実施をした。
また、公民館で60歳以上の方を対象に行っている菜の花講座においてもスマートフォンコースを設け、機器の使用方の講座を開催している。令和3年度は、年間11回の講座を開催し、基本的な操作方法はもとより、応用的な使い方まで学べる実践的な講座とした。
加えて、大手の通信会社が社会貢献事業の一環で実施するスマートフォン講座を市が協力して開催するなど、様々な機会において、高齢者の方々が身近なデジタル機器となるスマートフォンに親しむ場を設けている。今後においても、いきいきクラブや行政区などの協力を得て、これらの講座の開催等の可能性を打診しながら、デジタル化の恩恵を全ての方々に届けられるよう、より細やかな支援体制を整えていきたい。



高齢者のスマホ講座「超入門編」



永井 孝叔 議員



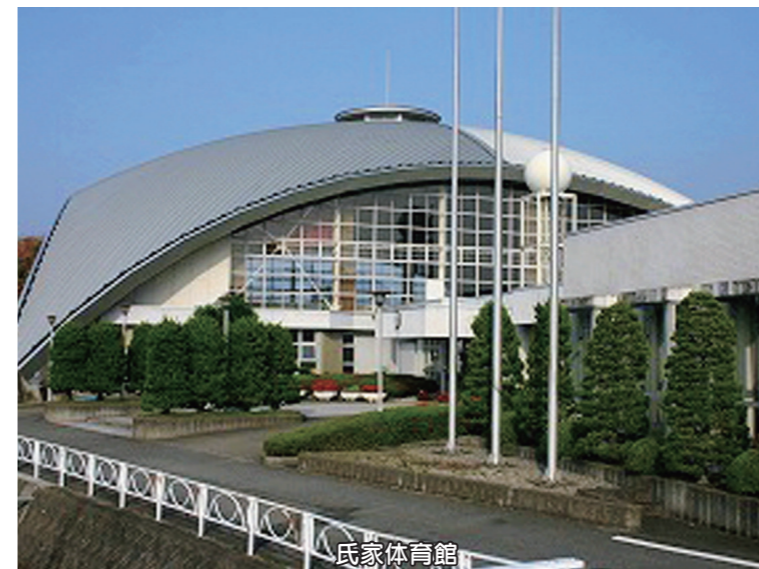
Takayoshi Nagai

中心市街地の活性化について

▶立地適正化計画策定事業で対応

Q 中心市街地は、空洞化や活力低下が生じている。文化施設や体育館等を複合化した施設を市街地に計画し中心市街地の活性化に取り組むべきと考えるが。

A 中心市街地の活性化は最重要課題の一つである。
本市では、令和3年3月に「さくら市都市計画マスタープラン」の改定に併せて、新たに市役所本庁舎やJR氏家駅周辺地区を活動中心拠点の都市核として設定し、商業、医療、公共公益施設、公共交通と多様な都市機能を活かした、暮らしを楽しめる街の中心地づくりに努めることとした。そして現在、駅東地区の将来像を決定し、氏家駅東地区魅力向上まちづくり基本構想策定業務に着手し地元住民との意見交換会、アンケート調査し、基本構想を策定し、2年程度を要し実施計画へと取り組んでいく。



氏家体育館

Q 新年度に「立地適正化計画」の策定を開始するが、その目的は。

A 市街地活性化事業の推進に向けて、補助率50%の都市構造再編集集中支援事業の採択条件である立地適正化計画の策定に取り組む。都市計画道路の整備や公共施設の整備も対象となる。

次代に花開く「さくら」活力と魅力に栄える自立・定住・交流のまち

さくら市
都市計画
マスタープラン

令和3年3月



櫻井 秀美 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Hidemi Sakurai

文部科学省の臨時交付金について

▶補助制度や臨時交付金を活用し新型コロナウイルス感染に負けない教育活動を進める

Q 令和2年度、令和3年度分の臨時交付金をどう活用したか。

A 小中学校のサーマルカメラ設置、通信環境整備事業、校内消毒や衛生用品の確保、臨時休業時の図書カード、スクールバス増便、学校給食費食材費キャンセル料支援、水道蛇口の改修などに活用。



改修された水道蛇口

Q 令和2年5月7日以降も文部科学省初等中等教育局より数回改訂されているが本市の対応は。

A その都度改訂内容を学校と共有している。主なものは、マスク着用、換気、密回避のための距離を意識した教育活動の実施など、学校における行動様式を感染レベルに応じて徹底する内容である。それらに示された感染症対策を講じるために、消毒機材の導入や換気を促す機器の設置、学習支援に不可欠なオンライン環境整備といった財源に、文科省の補助制度、臨時交付金を活用してきた。

Q 令和2年度スクールバス増便595万円の内訳と令和3年度の金額と期間は。

A 令和2年度は6月1日から6月26日、令和3年度は登校便が8月30日の1日、下校便が8月30日から6日間、事業費として67万3,200円を支出した。

Q スクールバス増便について、オミクロン株が増えている時期にこの程度でよかったのか。

A 学校の感染状況が大変逼迫した状況になったら、改めてそのような検討をする。

Q 小学生の通う歩道の整備等を臨時交付金で対応できるか。

A 通学路、歩道等の整備が該当になれば、事業計画の優先順位の中で判断したい。



スクールバス



加藤 朋子 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Tomoko Kato

今後の公共施設のあり方について

▶費用、利用状況、運営コストなどに配慮し、多角的な視点で統廃合を進めていく

Q 市民文化系、社会教育系及び体育レクリエーション系施設等は、新型コロナウイルス感染症対策による使用制限で利用率が大幅に減少しており、平成29年にまとめられた「公共施設等総合管理計画」における目標、建物延べ床面積一割削減から、さらに一歩踏み込んだ統廃合を進めるべきではないか考えるが。

A 令和2年度に、主な75の施設の劣化状況と長寿命化に要する費用を明確化した「総合管理計画個別施設計画」を制定した。統廃合については副市長を長とする「さくら市ファシリティマネジメント戦略会議」により多角的な視点で調査、検討を進めていきたい。

Q プール最適化計画の進捗状況は。

A 総合公園プールを廃止しあらゆる年齢層で楽しめるプール整備や、学校プールは小規模修繕にして、プールの集約化を検討する等、様々な案を検討している。今年度、児童・生徒を対象にしたアンケート調査を実施した。



総合公園プール

Q 喜連川保健センターに社会福祉協議会本部を入居させて借地を解消しては。

A 保健事業の縮小や、事務室の改修等を考慮し現状を継続することが望ましいと考える。社会福祉協議会は氏家支部の事務所の老朽化も著しく、市有施設との複合化など総合的に判断していく。

Q 旧喜連川庁舎跡地の利活用及び笹屋別邸及び駐車場の返還、喜連川地区体育館の統廃合等課題は多い。コロナ禍の今こそ、痛みを伴う決断に理解を得られるチャンスと考えるが。

A 長年活動してきた方々の意見を踏まえ、多少不便はあっても継続して活動できるように考えていきたい。



喜連川体育館

● 議会レポート

各種委員会等出席

- 民生委員推薦会(持ち回り審議)
 - ・吉田 雄次 議員
 - ・石岡 祐二 議員
- 表彰審査委員会
 - 1月13日
 - ・渋井 康男 議長
 - ・大河原 千晶 副議長
 - ・小堀 勇人 総務常任委員長
- 保育園運営審議会(書面表決)
 - ・加藤 朋子 議員
 - ・鈴木 恒充 議員
- 環境審議会(書面表決)
 - ・岡村 浩雅 議員

塩谷広域行政組合議会定例会

- 2月7日
- ・渋井 康男 議長
 - ・永井 孝叔 議員
 - ・石岡 祐二 議員
 - ・鈴木 恒充 議員
 - ・矢澤 功 議員

監査

- 定期監査
 - 2月3日、9日、10日、17日
 - ・石岡 祐二 議員
- 例月現金出納検査
 - 1月25日
 - 2月22日
 - 3月25日
 - ・石岡 祐二 議員

● 会議結果・賛否の公表については市ホームページをご覧ください。

「さくら市ホームページ ▶ さくら市議会 ▶ 定例会」



定例会
QRコード

「さくら市ホームページ ▶ さくら市議会 ▶ 臨時会」



臨時会
QRコード

● 議会の動き

1月

- 6日 議会広報委員会
- 9日 成人式
- 13日 表彰審査委員会
議会広報委員会
- 18日 議員全員協議会
議会運営委員会
第1回臨時会
- 20日 議会広報委員会
- 21日 議会新型コロナウイルス感染症対策会議
- 25日 例月現金出納検査

2月

- 3日 定期監査
- 6日 足利市100周年記念式典
- 7日 塩谷広域行政組合議会定例会
- 8日 議員全員協議会
- 9日 定期監査
- 10日 定期監査
- 14日 議員全員協議会
議会運営委員会
- 17日 定期監査
- 22日 例月現金出納検査

2月

- 24日 議員全員協議会
議会運営委員会
第1回定例会開会
議会広報委員会
- 25日 第1回定例会一般質問
- 28日 第1回定例会一般質問

3月

- 3日 予算審査特別委員会(総務所管)
- 4日 予算審査特別委員会(文教厚生所管)
- 7日 予算審査特別委員会(建設経済所管)
- 8日 文教厚生常任委員会
- 9日 建設経済常任委員会
- 11日 総務常任委員会
- 17日 議会運営委員会
議員全員協議会
第1回定例会閉会
- 24日 広報委員会オンライン視察研修
議会運営委員会視察研修
- 25日 例月現金出納検査
- 29日 国体実行委員会第3回常任委員会

どうなったんべ あの 質問



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

「桜の見本園」について

令和4年 第1回定例会
令和3年 第1回定例会
令和2年 第1回定例会

以前は…

さくら市という名前は、旧氏家町、旧喜連川町の両町に桜の名所があるという共通点から付けられ、平成17年度に誕生しました。しかしながら合併当時はまだまだ市名にふさわしい桜の景観とはいいがたく、更に市内における桜の把握や、保全についての具体的な計画も未整備でした。そこで、これらの課題を解決し、市の魅力を対外的にも発信するため「桜の郷づくり計画」が策定され、計画的な植樹等様々な事業が進められています。

今後は…

桜の郷づくり事業の更なる「進化」を求め、世界中の桜を楽しめる場所を作るというコンセプトを元に、勝山公園内に「桜の見本園」整備が実施されています。(完成には複数年かかります)令和3年度は、桜の権威である樹木医の和田博幸氏監修により28種類120本の桜が植栽されました。ソメイヨシノより早く開花する桜、遅く開花する桜、春と秋の2回開花する桜など、より長い期間桜を楽しめるような空間となっています。成木になるにはまだ時間がかかりますが、見本園は市民に向けた未来への投資として今後も守り育てていきます。



今後の成長が
楽しみです



市民の声

氏家空手道部 氏家空手道スポーツ少年団



かみ やま りょう いち
神山 良一 (古町)

空手道は、礼儀礼節を重んじる武道です。稽古に入るときと終わりに礼をして、相手を尊重する気持ちを表します。また、先生や先輩への挨拶、返事、正座の仕方、話の聞き方などの教えを通して「周りの人に感謝する」「大きな声で挨拶する」「礼儀正しくする」といった心得を学びます。小さい頃から学ぶことによって、日常生活において大切な礼儀作法を身につけることが出来ます。「武道」ですから厳しくつらいときもありますが、あきらめず続けていくことで、忍耐強くなり、自分に自信がついてきます。

子どもたちが空手を通して心身共に成長していくこと、それが私たち指導者の願いです。

今年は氏家空手道部創立60周年、氏家空手道スポーツ少年団40周年という節目を迎えます。先輩方が築きあげてきた伝統を引継ぎ、今後とも日々努力、精進し続けながら地域社会に貢献していきたいと思っております。

議会には未来ある子どもたちが、安心・安全に、のびのびと成長できる環境整備の推進を期待しております。



**氏家空手道スポーツ少年団
部員・団員募集中!**

**強く!
楽しく!
たくましく!**

子どもたちの生きる力を育みます!

見学体験 大歓迎!!

募集：園児(年長)～一般(老若男女問わず)

稽古日	火曜日 19:00～21:00	氏家南小学校
	木曜日 19:00～21:00	氏家体育館
	土曜日 18:30～20:30	氏家体育館

※見学・体験及び入団希望の方は、ご連絡の上、稽古日にお越しください。

【連絡先】 ☎090-2219-5122 神山

議会広報委員会



高瀬 一徳 福田 克之 石原 孝明 吉田 雄次 市議 栃木県さくら市議 岡村 浩雅

小堀 勇人 副委員長 加藤 朋子 委員長 大河原 千晶 角田 憲治

掲載写真は、撮影時のみマスクを外しております。

お知らせ

次回 6月定例会予定

6月2日(木)～6月16日(木)

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

● **議員年金について**
平成23年6月1日をもって廃止されました。

● **政務活動費について**
さくら市議会は支給されておりません。